

東京・関町修道院（東長崎教会助任）
信衡師
東長崎教会助任（新司祭）
李

信徒発見ミサ

1865年の「信徒発見」を記念するミサが、今年も記念日の3月17日に大浦天主堂で行われた。司式した高見三司大司教はミサの初めに、これからの信仰生活と、東北関東大震災の犠牲者、被災者のための祈りを呼び掛けた。説教では、「神さまはわたしたちに、愛する心をくだされた。人の痛みを共有し理解し、



力を尽くす。そして苦しむ時は素直に神さまに助けを祈りましょう」と説いた。また、「ミゼリコルディアの組」や「口神父らが示した愛徳の実践について触れ、隣人愛の教えを常々心掛けていけば非常時に動くことができる」と、信徒発見とその後の歴史とともに隣人愛を思い起こしたいと結んだ。

有馬川福者殉教者の遺骨里帰り記念の行列とミサ

2月20日10時半から、39年ぶりに里帰りした殉教者の遺骨を携えて、その殉教の地となった有馬川沿いに島原教会(主任・葛嶋秀信師)の信者らが参加し行列を行った(写真)。その遺骨は、1613年、有馬川でいのちをささげて信仰を証した3家族8人の殉教者のうちの1人の背骨で

あることが火刑による痕跡で分かっている。その歴史的な旅をさかのぼると、彼らの殉教の3日後、長崎の最初の教会、トードス・オス・サントス教会に安置された。そこにはすでに、八代の殉教者たちや山口のダミアン、生月のガスパル西玄可ら、3年前の2008年に同じく福者にあげられた者たちの遺骨も納められていた。そして1614年にキリシタン武將高山右近(列福運動中)や内藤如安らがマニラに追放された時に国外に運び出されたが、1995年、マカオの中国返還の機に遺骨の一部は長崎の西坂に戻ってきた。



福音の神髄である。これらは混濁した時代の中での、どのようにならざるを得ない時代、よりいっそう信仰の時代、もう一度カトリック信徒であるわたしたちが神に

とです。そして神からも人からも愛される人になることです」と地元の信者や長崎から駆け付けた修道女ら約80人に語り掛けた。

内堀3兄弟の記念像祝別式ミサと有馬の殉教者遺骨の安置式

翌21日9時から、島原教会の庭でバルタザール・アントニオ、イグナチオの内堀兄弟福者殉教者の記念像の除幕・祝別式が高見三司大司教の手によって行われた(写真)。この群像の制作は本田利光氏、鋳造を菓子 満氏、設置工事を川康建設(川口康志社長)が行い、38年前のこの日に有馬の冷たい海で殉教した3兄弟の、支え合い寄り添って信仰の道を貫いた勇姿を表している。また祝別式の後、有馬の殉教者の遺骨を聖堂内



に安置し、大司教は集まった信徒や修道女らに「かの地で殉教を遂げた者たちの1人の遺骨をここに安置するにあたり、ここに集まったあなたの家族の願いをお聞き入れください。いつくしみ深い父よ、強い家族の絆で結ばれた殉教者たちに倣い、わたしたちも心を合わせて、あなたへの愛と信仰の恵みに生きる者と

雲仙の福者殉教者の記念ミサ

内堀3兄弟の殉教1週間後にあたる2月28日、この日雲仙地獄で殉教した父・パウロ内堀作右衛門ら16人の殉教を記念するミサが、雲仙教会で葛嶋秀信神父によってささげられ、聖体に養われた生活を中心にした、と確認した。

寄付

匿名様 右の方からご寄付を賜りました。お礼とご報告を申し上げます。

長崎カトリック神学院

香典返し お礼とご報告

長崎カトリック神学院

●川原正明様(黒崎)

●冷水邦与志様(跡次)

●故マリア冷水マサエ様

●竹内忠正様(八幡町)

●故マリア竹内シヨ様

右の方々から神学生養成のために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますとともに故人のごいふ福を心からお祈り申し上げます。

長崎ダルクの自殺対策トークライブ 自殺者が年間3万人を超す日本の現状の中、NPO法人長崎ダルクは、自殺対策トークライブ「生きていくのはつらいよね」を3月5日、長崎市の出島交流会館で行い、約80人が集まった。



のトークライブは、平成22年度長崎県民間団体自殺対策事業として開催され、西脇健三郎氏(精神科医)、中川賀雅氏(長崎ダルク代表)、大江昌夫氏(九州ダルク代表)をはじめ、回復者からのメッセージが伝えられた。

日本におけるダルクは、メリノール宣教会司祭ロイ・アッセンハイマー師(自らがアルコール依存症となり、ニューヨークの神父専門のアルコール依存者更生施設に入所)の力を借り、近藤恒夫氏(日本ダルク代表)によって誕生した。

参加者は、「生きづらさ、死にたい気持ちを抱えながらも最後の瞬間に生きていくよかったです、生まれ生きてよかったと言え、このために生きていく」というメッセージが心に響いた」と感想を語った。

まなざしを向け、背筋を伸ばし、一本背骨の通った信仰を生きるようにと、福音の刻まれたこの背骨が戻ってきました。わたしたちの使命は、彼らがそうだったように真心から神に立ち戻ること、また教会から離れている多くの仲間を帰還を願うこと

月4日、県文化財保護審議会の答申を受け、旧大司教館(長崎市南山手町)を県の文化財に指定した。文化財は昨年3月の紐差教会など5件の指定に続き、今回で371件となる。同館は現在、長崎コレジオとして使われている。

なりますように。この聖堂を訪れるすべての人々が、あなたの消えることのないいつくしみに触れ、

孤独のうちに人生を歩むことがないようにしてください」との祈りをささげた。

設展示は一般200円、小中高生100円が必要。イェスス会立山修道院お知らせ ●祈りの一日 ①4月9日(土) ②4月21日(木) ③4月29日(金) ④5月16日(月) 10時~15時半 ●祈りの日々 ①4月16日(土)~17日(日) ②5月7日(土)~8日(日) 初日17時~翌日の朝食または昼食後 TEL095(821)4577

127回クルシリヨ 5月1日(日)~4日(水) イェスス会立山修道院 問合せ先・宮崎美和子 TEL095(879)5102

●ド・口神父ゆかりの茶畑の茶摘み(協力者募集) ①5月4日(水)、5日(木) ②5月28日(土)(雨天時は5月30日(月)に変更) 申込先・旧津救助院事務局 TEL0959(26)1002

●雲仙殉教祭 5月15日(日)13時 雲仙メモリアルホール

航海一周証言の地球一バクシヤ 途中報告

被爆者の1人として参加している深堀柱さん(城山教会所属、長崎教区広報委員)ら非核特使を乗せたピースボート「第4回ヒバクシャ地球一周証言の航海」が、順調に続いている。

約750人を乗せ1月23日に横浜を出港した「証言の航海」。横浜・タヒチ間の約2週間は、核実験被害地のタヒチを訪問する高校生平和大使5人も乗船し、人々と意見

を交換した。大使らに引率していた県被爆2世の会会長の丸尾育朗さん(諫早教会所属、教区正義と平和推進部会副会長)はタヒチ訪問後、大使らと共に帰国、現地の若者との交流などについて報告会を長崎で行った。丸尾さんによると、「船内では日本の被爆者と2世、高校生、タヒチのフランス核実験被害者と2世、オーストラリアのウラン採掘による核被爆者ら26人が一堂に会し議論。報告会を開催し、さまざま『ヒバクシャ』が存在することをアピールした。『核被害者の存在を初めて知ったという



参加者が大半だった。また、「深堀さんは航海4日目に初めての被爆証言を行った。当時の状況を交えて話した。今までの証言をしてこなかった自分が80歳を過ぎ、孫との会話を通して、何かをしなく

てはとの思いからこの旅に参加したこと、孫がおりいちゃんから被爆体験を聞いて感じたことを書いた手紙を読み上げた。皆が真剣に聴き入った」という。

「証言の航海」はスイス・ジュネーブ国連欧州本部を含め各地を巡る。アウシュビッツ訪問後の3月13日には、深堀さんから家族のもとへ「皆さんに協力いただいた折り鶴をささげてきた」との連絡が寄せられた。4月18日横浜に帰港予定。(写真後列左から2人目が深堀 柱さん、中列右端が丸尾育朗さん)

要理教師2級資格取得者 中川喜恵(けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会) 永田エミコ(植松教会 中野春香(長崎純心聖母会)

旧大司教館 県有形文化財に 長崎県教育委員会は3月4日、県文化財保護審議会の答申を受け、旧大司教館(長崎市南山手町)を県の文化財に指定した。文化財は昨年3月の紐差教会など5件の指定に続き、今回で371件となる。同館は現在、長崎コレジオとして使われている。

韓国の信者、五島の教会を巡礼 今年1月9日(日)を皮切りに、韓国のカトリック信徒の巡礼団が週末を利用して五島の教会をたびたび訪れている。

ツアアの日程は2泊3日。韓国から長崎を経由して五島に入り、2日間下五島と上五島の教会を巡礼し帰国の途に就くというコースが大半。福江教会では、厳しい寒さの中来島した巡礼団を温かく迎え、共に主の食卓を囲み、ミサ後は巡礼団の紹介、ミサ参加者全員の拍手で歓迎の意を表してきた。

このツアーは、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」を含む教会群を巡って

「浦上天主堂遺品展」開催中 5月10日(火)まで 原爆資料館 無料 ※常

2010 年度一菜募金・クリスマス募金支援状況

(教区評議会)

※支援金(送金実績額)は、2010 年度の募金額と過去のプール金とを合わせたものから送金しました。

●一菜募金

昨年 4 月から 3 月 17 日現在の募金額	¥6,518,971 -
送金実績	
①チリ地震災害支援	¥1,004,587 -
②上五島地区火災見舞い	¥150,000 -
③奄美大島豪雨災害見舞い	¥1,000,000 -
④ハイチ地震災害復興支援	¥1,006,468 -
⑤長崎南地区火災見舞い	¥150,000 -
⑥長崎北地区火災見舞い	¥150,000 -
⑦東北地方太平洋沖地震災害支援	¥5,000,000 -
⑧アフリカ・コンゴ内戦貧困支援	¥500,000 -
合計	¥8,961,055 -

●クリスマス募金

昨年 12 月から 3 月 17 日現在の募金額	¥4,769,050 -
送金実績	
①長崎市(生活困窮者支援)	¥500,000 -
②長崎ホームレスを支援する会	¥500,000 -
③長崎ダルク	¥500,000 -
④福岡教区 美野島司牧センター (ホームレス支援)	¥500,000 -
⑤東京教区シェルター山友会 (援助マリア会経由、ホームレス支援)	¥500,000 -
⑥大阪教区イエズス会社会司牧センター旅路の里経由で 釜ヶ崎キリスト教協友会(ホームレス支援)	¥500,000 -
⑦ハイチ キリスト・ロア宣教師道女会経由で ハイチ援助会(ハリケーン、コレラなど災害支援)	¥500,000 -
⑧パキスタン・アフガニスタン大洪水 (ベシヤワール会経由)	¥500,000 -
合計	¥4,000,000 -

教区評議会には、一菜募金からの送金について奄美大島豪雨災害(鹿児島教区)、上五島地区火災(信徒)、ハイチ地震災害(ハイチ・レデンプトリスチン修道院)など各支援先から受け取りの報告と感謝をつづった手紙が寄せられています。

2010 年度 地区評議会研修会終了

2010 年度、教区評議会が主催し各地区で開催していた地区評議会研修会が3月6日、長崎南地区での研修会をもって終了した。

テーマは「信徒の奉仕職」で、各小教区の評議員ら奉仕者が参加。教区



3月6日 長崎南地区での研修会

ついで導入講話を行った。その後分科会があり、熱心な討議が行われた。一連の研修会は日程の都合により6地区で開催(昨年6/20上五島、7/11平戸、8/29長崎北、10/24下五島、今年1/23長崎中、3/6長崎南)。下五島での参加者は「教区の研修会は長崎方面での開催が多いため

五島の信徒は機会が限られていたが、今回は自己の日々の奉仕とその意味を問い直し、新たに出発するよい機会となった」と語った。教区評議会の松尾勝議長は「研修会開催は、地区内の教会同士が交流し情報交換を行うことも目的の1つ。今回ある程度かなったと思う」と話している。

中村長八神父の 副葬品、長崎へ

58歳でブラジルに渡り、生涯をかけ宣教師と日伯親善に尽くした長崎教区司祭ドミンゴス中村長八神父(1865〜1941)。



道会。松尾師は中村長八神父

現地では列福運動が盛んに進められていて、昨年12月にはマツシヤード市内にある同師の墓が初めて開かれた。その時取り出された副葬品の一部がこの2月19日、長崎に届いた。副葬品を届けたのは、現在ブラジルで宣教師している日伯司牧協会の松尾繁詞師(コンベンツアル聖フランシスコ修

父列福委員会日本側代表委員の野下千太郎と共に大司教館を訪れ、現地の列福調査委員会から託された遺品3点(十字架、ロザリオの一部、金歯)を高見三明大司教に渡した。野下師は、「今回の墓地発掘調査に立ち会った検証医は、神父の遺骨は埋葬70年間の自然腐敗は免れなかったとしても、極めて明晰さをとめていると証言している。この調査がこれからの列福運動の足跡となることを期待したい。わたしたちにできることは、中村長八神父への認識を一層深め、ブラジルの信者たちの祈りと運動を、熱心な祈りで支援することだと思

第10回 長崎コレジオ卒業式



第10回長崎コレジオ卒業式が、2月20日(日)17時半から大浦教会にて高見三明大司教司式のもと、み言葉の祭儀の中で行われた。今年の卒業生

長崎カトリック神学院 卒業式

長崎カトリック神学院の卒業式が2月28日(月)17時から、神学院聖堂に

は土井ノ浦小教区(主任：鶴崎伸也師)所属の下原和希神学生。式後は、教会近くの長崎堂で祝賀会が開かれた。司祭団や家族、ソロモン友の会、大浦コレジオ会、そして大浦教会信徒の方々から祝福を受けた下原神学生は、晴れ晴れとした表情で巣立っていった。この4月、日本カトリック神学院(東京キャンパス)に進学する。



新刊良書

★原爆被爆者三世代の証言―長崎・広島―の悲劇を乗り越えて 澤田愛子 著

本書は、被爆者の被爆体験や戦後の生活とその信条が被爆二世、三世にどのような心理的・社会的影響を及ぼしてきたのかインタビューを通して分析し、まとめたもの。ホロコースト生還者の心理社会的影響の世代間研

巡回教会めぐり ④

浦頭小教区 堂崎教会

聖ヨハネ五島の
聖遺骨が安置



は26聖人の1人、聖ヨハネ五島の聖遺骨が安置されている。また1980年(昭和55)内部にキリシタン資料館が開設され、布

半泊教会

折上天井に浮かぶ
椿に鉄川氏を魅る…



暗闇の中、凄まじい風がごう音とともに屋根を打ち碎き、落とした。一瞬の静寂の後に現れたのは、折れた柱や瓦の中に立つ聖櫃だった。1987年(昭和62)8月31日、台風12号は五島に大被害を与えた。半泊間伏・鯉綱代の信徒は全

宮原教会

地区総出で改築
民家風の素朴な教会



福江から堂崎教会の手前で左折し、戸岐大橋を渡ると民家風の素朴な宮原教会が見えてくる。この地区は元帳(通称・カクレキリシタン)の方々が、五島でも最後まで組織的信仰を守り抜いてこ

雲仙殉教者たちが歩いた道を 共に歩きましょう

5月15日(日)午前8時 カトリックセンター集合、マイクロバスで出発。《巡礼コース》小浜海岸で下車、殉教者が歩いた道を約1時間40分歩く、健脚コース。タオル、帽子、水筒など持参。※小雨決行。下寮英知師(カトリック

た。柱やタルキにあてると杉材は、中五島の神之浦から運ばれ、船を仕立てた信徒たちは、持ち寄りの食料を積み込み現地向かい、伐採作業に5日間を要した。その情熱のもと、鉄川氏は工期3カ



センター)同行。巡礼後、雲仙殉教者に参加します。(参加費)2千円(車代往復・弁当込)当日集金。申し込み先(先着22人)TEL095・842・4450 カトリックセンター内 シスター辻原まで緊急連絡先 TEL090・9569・5782 木場田友次

四旬節、皆さんの教会では どのように過ごしていますか？

灰の水曜日から復活祭(復活の主日)までの四旬節期間、信者は節制と回心に努め、自分の生活を振り返る。長崎地区における3教会の、四旬節の過ごし方について紹介する。

「和解の火」燃える

深堀教会 (南地区)

3月6日(日)、深堀教会(主任司祭・紙崎新一郎)では、四旬節導入の



ための独自の行事である「和解の火」の儀式が、主日のミサに引き続いて行われた。今年で3回目。着想は、近隣地域で正月後の行事として行われている「鬼火焚き」。このとき、門松やしめ縄などを持ち寄って燃やし、鏡もちを雑煮などにして食べる。教会には門松やしめ縄はないが、「聖書と典礼」や「毎日のミサ」といった使い捨ての信心のための冊子や古くなった折り本、聖歌集など、心情的に一般のごみと一緒に捨

「十字架山」で道行

浦上教会 (中地区)

3月11日(金) 19時過ぎ、日が落ちて辺りはずっと暗くなったものの、「十字架山」(長崎市辻町)には次第に人が集まってきた。祈るために徒歩や車で丘へと登ってきた人々だ。

浦上教会(主任司祭・小島栄師)では四旬節中の毎週金曜日、18時半から聖堂で、19時半から十字架山で、それぞれ十字架の道行が行われている。十字架山は1881年(明治14)、当時の浦上



教会主任司祭プー師を中心に、流配から帰った信者たちによって築造。キリストの受難の丘カルワリオによく似たこの地に、「禁教時代の絵踏みの罪の償い」「為政者を

てられず、困っている信徒も多い。これらを「鬼火焚き」のように燃すことができれば…。

すぶっている心のわだかまりを燃やし尽くす儀式とした。希望者は心の思いをつづった「和解の手紙」を火の中にくべることもできる。式後には、おいしいおにぎりや豚汁。和解の手

紙は書きまじか」という質問に、「まだそんな心境にはなれません」との答えもあったが、四旬節を迎えるにあたって、教会共同体として和解を意識する大切な日となったようだ。

と思いますか」との質問に参加者は、「今年は特に信徒発見(3月17日)150周年という大きな節目を4年後に控えていることを意識し、日々祈っていききたいと思っています」と答えた。

週4回、十字架の道行

植松教会 (北地区)

四旬節中は各教会でしばしば十字架の道行が行われるが、植松教会(主任司祭・中村倫明師)では四旬節中の毎週金曜日から日曜日にかけてミサ前に道行があり(金・19時、土・18時半、日・8時半)、今年は火曜日夕方のミサ前18時半からも行っている。週4回におよぶ道行は、典礼委員が先唱を分



担して実施し、毎回30～50人が参加している。3月12日(土) 夕方、道行の参加者に、祈る時、イエスさま(の受難の姿の像)を見ると涙が出てきます」と話してくれた。

この日の道行後のミサでは、灰の水曜日「灰の式」に参加できなかった人のため信者が互いに額に灰をかける機会もあり、また、2人の方の洗礼志願式も行われた。「わたしが子どものころから続いている(ある典礼委員の話)」という同教会の十字架の道行。聖金曜日(4月22日)には聖堂正面に掲げられているキリスト像に、直接触れることができるよう足場が組まれる。キリストの受難をしのび黙想する祈りの声は今日も響く。

尊厳のある服 ファッションショー

高齢者や障害がある人にとって着脱しやすく、またファッション性もある服を紹介する「尊厳のある服ファッションショー」(教区福音化推進部主催)が2月27日カトリックセンターで開

催され、約150人が集まった。モデルを務めた信徒ら15人が、注射や血圧測定の際に便利なよう袖口から脇下まで開くジャケットや、「座ったまま」はくことができるよう左右の脇が全開するズボンなどを紹介。来場者は「少しでも長い期間、自分で



服の着脱ができるよう工夫されていると思った」と服の印象を語り、会場案内を手伝ったスタッフの1人(長崎純心大学現代福祉学科社会福祉コース3年生)からは「このような機能性とおしゃれなデザインがある服を初めて知った。(この服が)一般的になってほしい」との声も聞かれた。

青年の黙想会 テーマは「あかし」

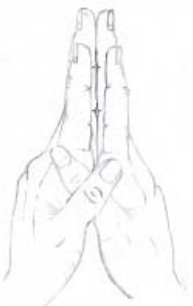
3月13日、教区青年黙想会(教区青少年委員会主催)が大司教館で行われ、41人の青年が集まった。テーマは「あかし(あゆみだそう かみさまのいめされたみちを)」。6月開催予定の「あつちこつちミサ」のテーマと同じで、今回の黙想会はその準備に役立てることを目的として行われた。参加した多くの青年た

マタイ28章20節「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」

中学1年で神学校に入學したとするならば、小神学校を6年間、長崎コレジオを4年間、そして大神学校を6年間、司祭になるためには16年という長い月日がかかります。この16年間、いちずに司祭職を目指して歩んでいけるかといえれば決してそうではありません。そこにはさまざまな葛藤があり、悩みや迷いも生じ、多くの困難もありま

みことばにふれて

野濱達也神父
(長崎カトリック神学院)



れだけの支えがあったことでしょうか。自分自身の歩みを振り返ってみても、共に歩みを続けていく仲間、励まし、力となってくださる先輩の神父さ

らうと思います。わたしたちは日常の生活の中で、常にイエス・キリストのことを意識しているかといえれば決してそうではないかもしれせん。実感することもありないかもしれませ

「みことばにふれて」のカットを募集します

本紙掲載の「みことばにふれて」のカット(挿し絵)を募集します。「みことば」や「祈り」からイメージしたものを絵画で表現していただき、ふるってご応募ください。応募いただいた中からいくつかの作品を広報委員会が選考し、本紙2011年6月号以降の「みことばにふれて」シリーズに掲載します。

対象 小・中学生
応募規格 はがき、またはA4サイズまでの大きさの用紙。描画材料は自由。
募集期間 2011年4月1日(金)～5月9日(月)必着
選考発表 本紙への掲載をもってかえさせていただきます。
その他 住所・氏名・学年・所属教会を記入。応募作品は1人1点までとし、原則返却しません。

提出・お問い合わせ先
〒852-8113 長崎市上野町10-34 カトリックセンター内
カトリック長崎大司教区広報委員会 電話095(843)3869



ちは、3年前に188殉教者の列福式を経験、殉教者が示した「信仰の証し」を数多く聞いた。それをいかに受け止め、自分たちが証ししていくかが今後の課題。説教を担当した鶴崎伸也神父(土井ノ浦教会)は188殉教者について分かりやすく話し、その話をもとに分ち合い、祈った。ゆるしの秘跡、高見三司大司教司式のミサと秘跡の恵みに満たされた青年たちからは「ありがとう」という感謝の言葉が多く聞かれた。

召命黙想会のご案内

日時: 2011年4月29日(金)17時～5月1日(日)午前中
場所: 長崎市 立山黙想の家
対象: 未婚の若い女性(35歳くらいまで)
導 師: ディアス神父様(イエズス会) 参加費: 3,000円
切 催: 2011年4月25日(月)
主 催: 聖フランシスコ病院修道女会 長崎修道院
申し込み シスター石岡ヒロ子(聖フランシスコ病院 看護部)
TEL095-846-1888代 FAX095-845-7600
E-mail: ishioka@sfn.or.jp

ペトロ岐部と187殉教者列福式記念墓地・高見三司大司教祝福

カトリック長崎中央墓園

所在地: 長崎市田中町3540番6～7 既存道名: 中尾木場線(木場峠付近)
開発総面積: 2648.66㎡ 付帯設備: 照明灯、管理棟

〈区画/規格: 1.5m×2.0m 3.0㎡〉
墓碑1区画(青・桜・白) ……160万円
(内 永代使用料50万円)
管 理 費 (10年分) ……6万円

月額2万円より
分割可能
◆自由区画もあります

〈納骨堂式〉
納骨堂式1基(3段) ……70万円
(内 永代使用料20万円)
管 理 費 (10年分) ……3万円

お問い合わせ

〒850-0055 長崎市中町1-13
カトリック中町教会内 墓地管理委員会
代表 主任司祭 久志利津男
TEL 095-823-2484 FAX 095-823-2486

宗教法人
カトリック長崎大司教区公認
第1号の墓地
所属教会を問わず
お求め頂けます

予約制度導入

永代使用料をご入金で、
ご希望の区画を予約できます
(3年間管理費無料)

現地説明会ー復活祭
(H23.4月3日) 正午～17時

従来の立型(和式)竿石と横型(洋式)の墓があります。横文字、好きな絵図などが刻彫可能で、若い世代に人気です。